

# 遊びの重要性を語る力

## 遊びの重要性を

### — 遊びのはじまり —

朝、昨夜の雨の雫で着飾った草木が、きらきらと、子供たちを誘っています。園庭の泥場に水溜まりを見つけたM児は「ここ田んぼみたい」と、くすっと笑いました。特段「田んぼ」に詳しい訳ではありません。山形の子供であれば誰もが車窓から眺めたことがあるくらいの、M児もそんな感じだったようです。昨日とは一転した霽天気の園庭の様子に、何か誘われたように、M児は「田んぼ」をやってみたくなったのでした。すぐに隣の雑草を抜いてくると、M児は田植えっぽいことを始めました。【写真①】

ホームページでは写真を公開しておりません。ご了承ください。

①泥場にできた水溜まりに草を植え始めたM児。周囲にいた友達が「何してるの?」と近づいてくると、「田んぼってお米になるよ」とM児。「本当?すごいっ」と友達。

②保育者が「田んぼは水が大切なんだよ」と声を掛けると、遊びが「草(苗)を植えること」から「水の管理」へと変化。初めは水場を行ったり来たりしていたが「これじゃ全然溜まらない」と、道具を駆使し始め、大忙しの子供たち。

そっちのペットボトル、もう水が無いよ! 誰か早く汲んできてー!

水の機械だ! 自動だぞ。

もっといい機械ができたぞー!

5歳児 5月~6月 「田んぼごっこ」

せーの、で流そうよ!

③次の日、また次の日と、登園するたびに水が引いてしまっていることに子供たちは大慌て。「なんでー」「また水がないよー」その度に、水の機械は幾度もバージョンアップを重ねる。

### 教育者に求められること — 遊びを語る —

「子供の遊びを語ることで、教育の質向上と小学校以降の大切な視点です。最近「架け橋プログラム」という質問をよく受けますが、それは決まらず「そこをどうやって遊んでいくか」という保育、遊びの観念を返すようにしています。幼児教育の中心である遊びを見つめ、継続はやるべきです。」

何を語るべきか、遊びの重要性を語るには、遊びの経験や観察から得た具体的な事例や、遊びの過程での子供の発言や行動など、具体的な事実を基に、遊びの価値や意義を伝えることが重要です。また、遊びの過程での子供の成長や学びについても、具体的な事例を基に伝えることが重要です。

④⑤園庭で見かけたカラスが契機となり「かかしをつくりたい、何か材料ないかなあ」とM児。完成すると「これはかかしのお父さん、かかしのお兄さん、かかしのお友達...」とM児たち。<次号に続く>

### 保育者のこがすこい — 創造力×想像力 —

保育者のこがすこい、創造力×想像力。遊びを通じて、子供たちは想像力を発揮し、創造力を伸ばしています。保育者は、遊びの過程で子供たちの想像力をサポートし、創造力を伸ばすことが重要です。

### ちよこつとメモ

先日、「今後の幼児教育の在り方に関する調査報告書(文部科学省)」が発表されました。最後の報告書が示されたように、今後の幼児教育の在り方について、各幼児教育施設において、各施設に合わせた取り組みが求められています。この報告書は、今後の幼児教育の在り方について、重要な示唆を与えています。